

1年 単元名：総合的な学習の時間（海洋学習） 「聞き書き」（7時間）

1 単元設定の理由

「牡蠣の養殖体験活動」や「アマモ場の再生活動」という体験活動だけでは、作業学習に終始する危険性がある。そこで、直接に漁師および海洋に関する専門家などのさまざまな立場から日生の海に関わっている方々から話を聞くという「聞き書き」学習を取り入れることで、活動の意義を理解し、先達の思いを受け止めることができると考えた。

2 単元目標

- ・日生の漁師や海洋関係者から「アマモ場の再生活動」や日生の海などについて体験に根ざした思いや願いを聞き取ることを通して、アマモに関する知識やアマモ場の再生活動の意義を学ぶとともに、郷土への愛情と誇りを培う。
- ・「聞き書き」という学習方法を学ぶことで、コミュニケーション能力や思考力・表現能力を育成する。

3 単元の評価基準

- ・意欲的に学習に取り組み、海洋活動に対する興味や関心を広げ、理解を深めることができた。
- ・グループに協力し、役割分担に応じて積極的に取り組むことができた。

4 単元の指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
1	【 事前学習 】 ①「聞き書き」の方法および注意の説明を受ける。 ②グループごとに話者に対する情報を共有し、質問事項について話し合ってみる。 ③グループ内の役割を分担する。	○テーマに沿った質問を考えさせる。
3	【 聞き書き 】 ①グループごとに話者に「聞き書き」を行う。 ②司会者、質問者だけでなく全員が質問をする。 ③聞き漏らさず、ポイントを押さえながらメモを取る。	○話者との応答の中からさらなる質問を考え、「対話」となるようにさせる。(大学生のサポート) ○メモをしっかり取らせる。
4	【 まとめ作業 】 (新聞づくり) ①ボイスレコーダーの音声データを分割し、全員が担当部分を文章化する。(テープ起こし) ②文章データとメモを整合させながら要点をまとめ、補足説明や追記の作業を行う。 ③要点から「新聞」の小見出しを考える。 ④「新聞ソフト」を活用して記事を書き、レイアウトを整えていく。	○音声データの文章化は夏季休業中に各自で行わせる。 ○グループ長を中心に全員が分担して「記事」を書くようにさせる。文言や表記の統一を図らせる。 ○大学生(サポーター)に的確なアドバイスをさせる。
2	【 最終校正作業 】 各グループの代表生徒と大学生で最終的な校正作業を行い、「新聞」を完成させる。	○誤字・脱字のチェックやレイアウトなどを確認・修正する。

外部連携

- | | |
|--------------------|-----------------|
| ○認定NPO法人共存の森ネットワーク | ○NPO法人里海づくり研究会議 |
| ○NPO法人岡山環境ネットワーク | ○笹川平和財団海洋政策研究所 |
| ○寺間・見崎里浜づくり会 | ○立命館大学 他 |

アマモ学習Ⅱ：「聞き書き」の授業構成

時 間	内 容
10:25～10:30	全体説明（藤田）：授業の流れについて
10:30～12:00	<p>事前に決めていたグループごとに「聞き書き」を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>① 漁師さんを支え、自らもアマモ場再生活動に従事された漁師の奥様 A：本田満寿美さん（本田前組合長の奥様）</p> <p>② 日生諸島に居住されている漁師さん B：山口清貴さん（頭島支所長）</p> <p>③ アマモ場再生活動に初期から従事されてきたリーダー格の漁師さん C：磯本洋さん（日生町漁協の漁師） D：淵本重廣さん（日生町漁協組合長）</p> <p>④ 日生外に居住しながら日生の海及びアマモ場再生活動に関わってこられた専門家 E：森田健二さん（NPO法人海辺つくり研究会理事） F：片山貴之さん（海洋建設研究調査部部長）</p> </div> <p>（約45分後に休憩を）</p> <div style="display: flex;"> <div style="flex: 1; padding-right: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 休憩時間に、大学生と教員で進捗状況の確認と後半の進行に関して打ち合わせを行う。 <li style="text-align: center;">↓ ・ 進行などを代表生徒に指示する。 </div> <div style="flex: 2;"> <p><進行に関する留意事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グループ内の役割分担に従い進行していく。（代表生徒の司会） ○ 各グループはそれぞれ、話者が、なぜ（どうして）、いつから、どのように、「アマモ場の再生活動」に関わっているかを聞いていく。<アマモ場の再生活動に関して> ○ 今、具体的にどのようなこと（活動・生活）をしていて、将来の日生の海についてどのように考えているか（意見や活動に関する考え）などを確認していく。<各話者のテーマに関して> ○ 各グループごとに、事前に準備しておいた質問事項をもとに質問をしながら話を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 応答の中で気になったことやわからない言葉（専門用語）などがあれば質問をする。 ・ ワークシート（記録用紙）に「聞き書き」内容をメモしていく。メモは要点を押さえ、テープ起しの原稿と照合できるように工夫する。（時間、質問項目、ポイントなど） <p>※ 話者との「対話」が途切れた場合、サポート役の大学生や教員が適切な質問や会話でつなげていくように配慮する。</p> </div> </div>

